

大阪・関西万博の直近の準備状況

2024年3月4日 第10回持続可能性有識者委員会

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
企画局 持続可能性部

1 会場の建設状況







2 パビリオンの状況



参加目標数

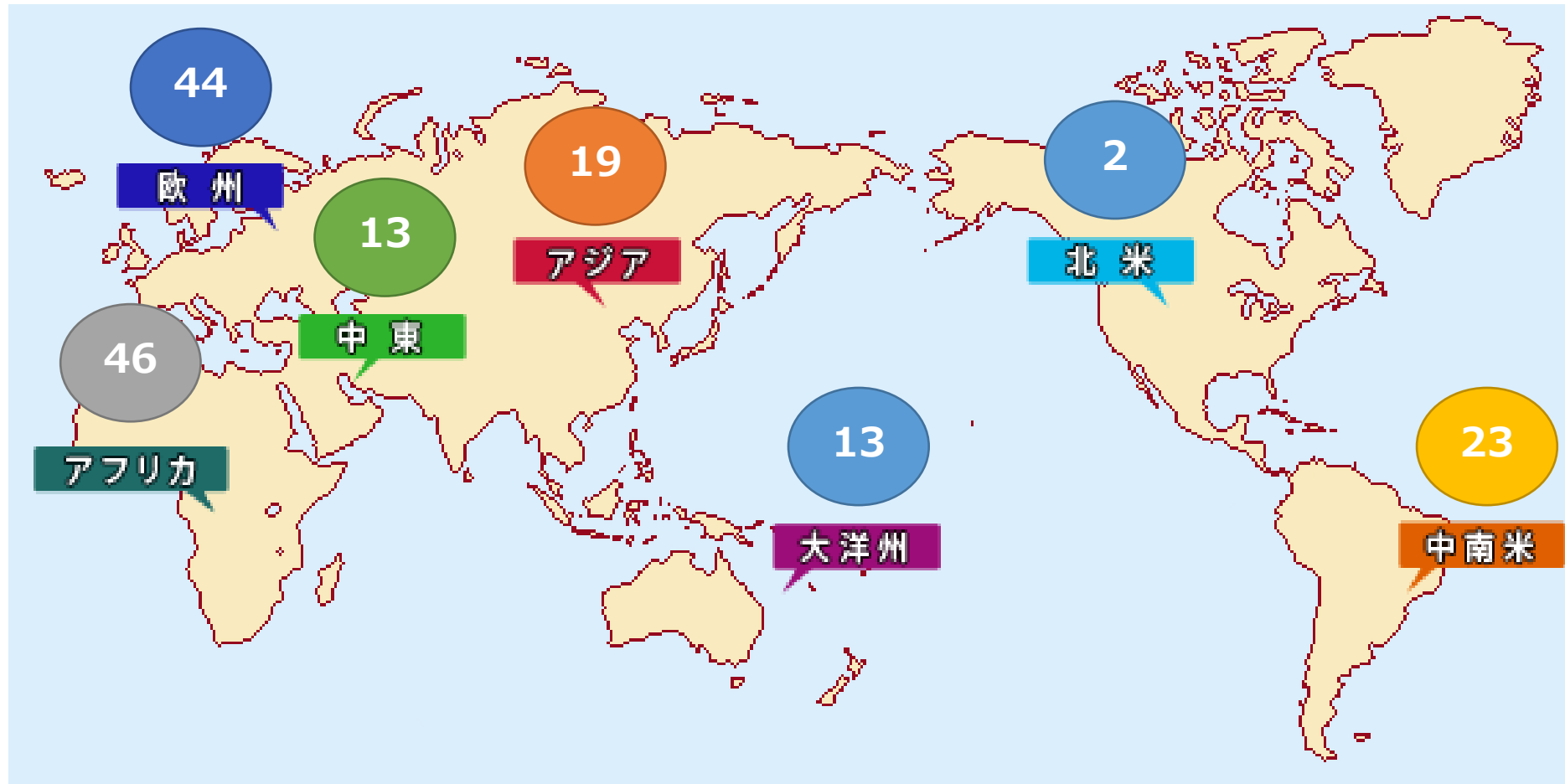
公式参加表明

150か国・地域

160か国・地域

25国際機関

9国際機関



(背景地図出典：外務省ウェブサイト)



公式参加者パビリオン



イタリア



オーストリア ©BWM Designers & Architects



ルクセンブルク ©STDM architects



ドイツ © German Pavilion / MIR LAVA facts+fiction



スイス © FDFA, Presence Switzerland



カナダ ©Embassy of Canada

公式参加者パビリオン



チェコ



オランダ © Plomp



ベルギー ©BelExpo



オマーン ©Oman Pavilion



オーストラリア Design by Buchan Holdings Pty Ltd, Render by FloorSlicer



中国 ©中国国际贸易促进委员会 (CCPIT)



- 1 国際会議IPM 2023Autumnを11月14日～15日に開催。
参加を表明している全ての国・地域や国際機関（約150の
国・地域、7国際機関の500名）に対して、パビリオン出
展に係る各種情報の提供を実施。
- 2 本会議には各国・地域、国際機関の国際博覧会責任者が
出席し、万博テーマへの理解をより深めていただくための
セッションや、パビリオンの内外装や展示工事、運営準備、
催事の計画など、多岐にわたる事項についてガイダンスと
ディスカッションを実施。
- 3 のべ70の行政機関・事業者の参加を得て、本会議と並行
して13の分野で個別相談に対応するワンストップショップ
を設置。建築関係（大阪市へ基本計画の提出含む）、展示
内装工事関係から銀行口座開設、税金相談、査証に至るま
で600件を超える相談に応じ、課題解決を図った。
- 4 IPM後には、大阪・関西地域への理解を深め、交流を深
めるため大阪・関西エリア各地への現地視察（エクスカー
ション）も実施。



IPM Autumnの様子



参加者代表集合写真

テーマ事業「シグネチャープロジェクト」コンセプト・展示イメージ



いのちを守る

プロデューサー 河瀬 直美

いのちのあかし

コンセプト

わたしのなかのあなた、
あなたのなかのわたしに出会う場所

体験イメージ



© Naomi Kawase / SUO, All Rights Reserved.



© Naomi Kawase, All Rights Reserved.

いのちを響き合わせる

プロデューサー 宮田 裕章

Co-being

コンセプト

Better Co-being

体験イメージ



©SANAA



いのちをつむぐ

プロデューサー 小山 薫堂

EARTH MART

コンセプト

「食」と「いのち」にまつわる当たり前を
リセットし、ひとりひとりの行動を変える
ヒントにあふれた市場

体験イメージ



©EARTH MART / EXPO2025



いのちを拡げる

プロデューサー 石黒 浩

いのちの未来

コンセプト

技術と融合することにより、
いのちの可能性を拡げる

体験イメージ



©FUTURE OF LIFE / EXPO2025



いのちを育む

プロデューサー 河森 正治

いのちめぐる冒険

コンセプト

今、ここに共に生きる奇跡

体験イメージ



© 2022 Shoji Kawamori/Office Shogo Onodera, All rights reserved.



© 2023 Shoji Kawamori / Vector Vision All rights reserved.

いのちを高める

プロデューサー 中島 さち子

いのちの遊び場 クラゲ館

コンセプト

STEAM
ワクワク！を探す旅へ

体験イメージ



©steAm Inc. & Tetsuo Kobori Architects All Rights Reserved



いのちを知る

プロデューサー 福岡 伸一

いのち動的平衡館

コンセプト

いのちは動的平衡

体験イメージ



© DYNAMIC EQUILIBRIUM OF LIFE / EXPO2025



いのちを磨く

プロデューサー 落合 陽一

null²

コンセプト

デジタルヒューマンという新しい身体の写真鏡、
変形構造体建築による新しい風景の鏡、
デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて
磨き輝く命の形を示す

体験イメージ



©2023 Yoichi Ochiai / 設計: NOIZ / Sustainable Pavilion 2025 Inc. All Rights Reserved.



©2023 Yoichi Ochiai / WOW All Rights Reserved.

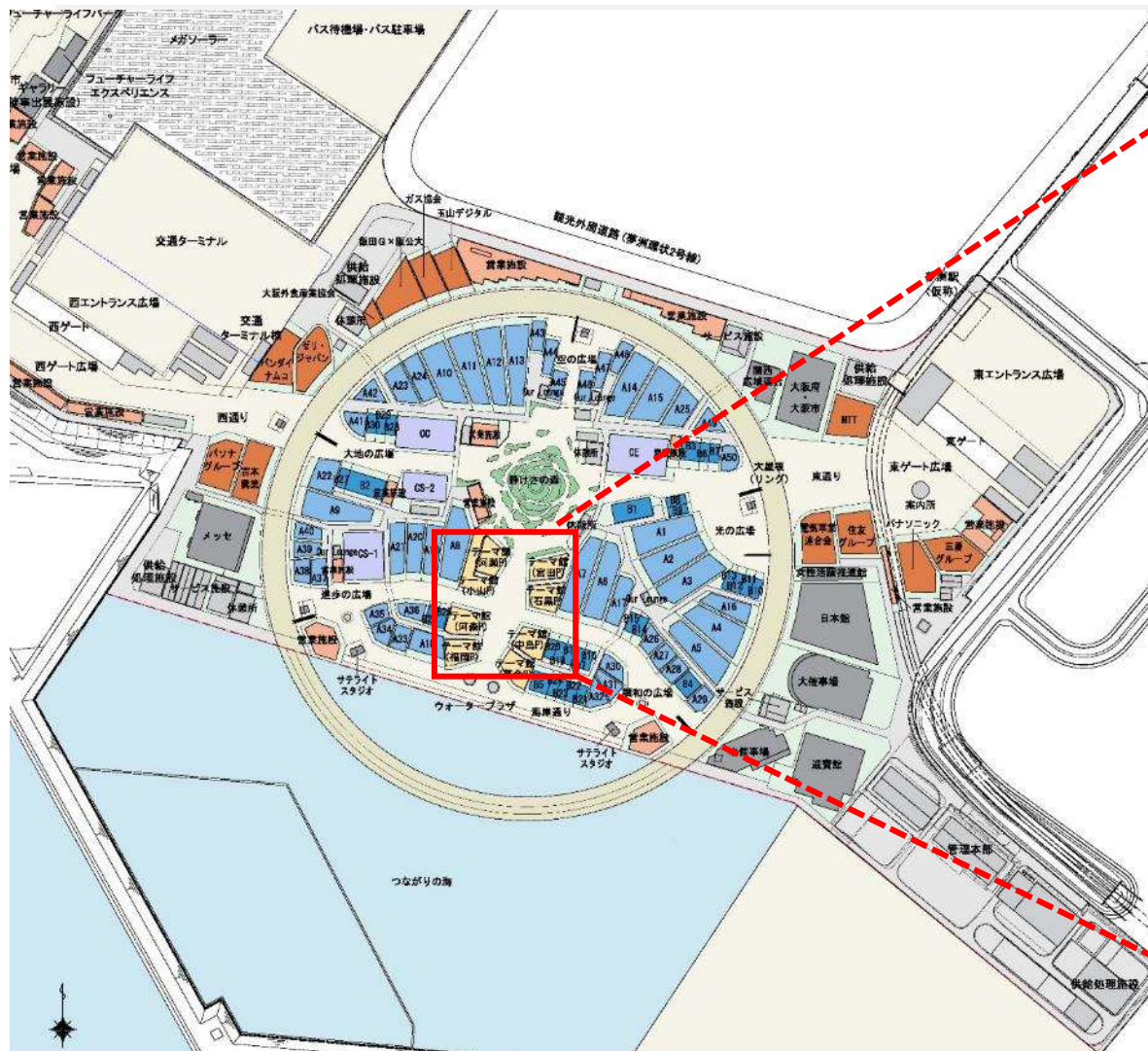


© 蛸川 実花

大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を2022年4月18日に発表

テーマ事業「シグネチャープロ젝ト～ 「いのち」をめぐる8つのテーマパビリオン～」

8人のプロデューサーによるシグネチャープビリオンとイベントで構成



シグネチャープビリオン

～いのち輝くひろば～

河瀬 直美
プロデューサー

小山 薫堂
プロデューサー

宮田 裕章
プロデューサー

石黒 浩
プロデューサー

河森 正治
プロデューサー

福岡 伸一
プロデューサー

中島 さち子
プロデューサー

落合 陽一
プロデューサー

8館が一体となった
環境デザイン

民間パビリオン

日本電信電話株式会社

パビリオン名称 NTT Pavilion Natural (仮称)



NTTパビリオンでは次世代通信インフラ”IOWN”により離れた空間そのものを伝送し、音や映像にとどまらない様々な感覚が伝わってきたり、他生物の世界を再現したりすることで、驚きある体験を提供します。

電気事業連合会

パビリオン名称 電力館 可能性のタマゴたち



エネルギーのたくさんの“可能性のタマゴ”を体験できるパビリオンです。この「タマゴ型デバイス」を手に持って館内を巡り、新たなエネルギーの可能性を発見して、一緒に未来を切り拓こう！

住友 EXPO2025 推進委員会

パビリオン名称 住友館



400年に及ぶ歴史の中で、住友が時を超えて継承し続けた「住友の森」の木々を余す所なく住友館の建築などに活用。館内では森の中で様々ないのちの物語に出会うインタラクティブな体験や、未来の住友の森へとつながる植林体験を実施する。

パナソニックホールディングス株式会社

パビリオン名称 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」



パビリオンを包むファサードがその時々風の風や光の当たり方によって様々な表情をするデザイン。このファサードの形状がまさに「720°の循環」を表現し、見る角度によって様々な感じ方ができます。また、このファサードの形状は「∞=インフィニティ」も意味しており、子供たちの無限の可能性を象徴しています。

民間パビリオン

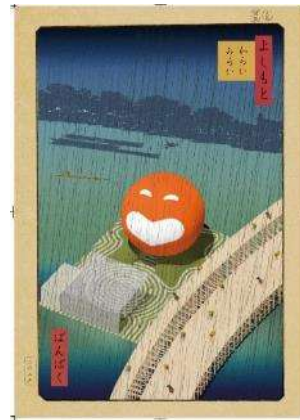
三菱大阪・関西万博総合委員会 パビリオン名称 三菱未来館



三菱未来館

地上に浮かぶマザーシップのような建築です。日中の日差しから束の間の休息を与えてくれる地下空間を通り、“船内”に乗り込んで、地上2階建てのパビリオンを立体的に巡り、時間・空間のリアルな体験から「いのちの未来」を感じていただきます。

吉本興業ホールディングス株式会社 パビリオン名称 よしもとwaraii myraii館



パビリオンのテーマは「Waraii Myraii（ワライミライ）」テーマの“waraii”が世界語となることを夢見て、3つの「世界中の子どもたち」「笑い」「つながる」のキーワードをもとに、「分断」と「対立」の世の中に、子どもたちが初対面でも笑い合うことで国境を越えてつながることができる「笑い」のチカラを、世界の子どもたちと一緒に示していきます。

株式会社パソナグループ パビリオン名称 PASONA NATUREVERSE



コンセプトは「いのち、ありがとう。」「からだ・こころ・きずな」をテーマに様々な展示を実施。“いのち”の歴史、それを支える人類の英知や未来社会のデザインに触れ、“いのち”への感謝を感じて欲しい。

特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン パビリオン名称

BLUE OCEAN DOME（ブルーオーシャン・ドーム）



ブルーオーシャン・ドームは「海の蘇生」をテーマに掲げ、地球や海に対する態度変容を起こすような表現装置と共に、海の持続活用に因んだ展示スペースでは各種イベントを実施し、来場者に今までにない体験を提供します。

民間パビリオン

株式会社バンダイナムコホールディングス

パビリオン名称 **GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION**



「機動戦士ガンダム」をテーマに未来社会の課題解決に向けた実証実験や、人と人のつながりによる「共創」の実現、リアルとヴァーチャルの連動した未来体験を提供し、ガンダムが示す可能性を感じていただけるパビリオンを目指してまいります。ぜひご期待ください。

一般社団法人日本ガス協会

パビリオン名称 **ガスパビリオン おばけワンダーランド**



コンセプト「化ける、未来！」に基づいて設計された、大きな三角形の断面が特徴的なパビリオン。鏡面の膜に風景が映り込み、建物の表情が変化します。3Rにも取組み、会期後にも「化ける」ことを目指します。

一般社団法人大阪外食産業協会

パビリオン名称 **ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」**



人が楽しみを求めて交わる時、よき食べ物とよき飲物、よき色とよき形、よき音とよき会話、そしてよき演出が要る。それを併せ持つものをこの国では「宴」と呼んだ。

玉山デジタルテック株式会社

パビリオン名称 **TECH WORLD**



パビリオン「TECH WORLD」はデジタル技術を駆使してサステナブルな未来社会ビジョンを実現します。「心の山」をコンセプトに、きらめく山肌が自然との共存、人とのつながり、多様性や寛容、輝くいのちなどを表現します。

飯田グループホールディングス株式会社

パビリオン名称 **飯田グループ×大阪公立大学共同出展館**



普遍的価値を持つものは残しつつも、持続・循環・継承・進化を繰り返しながら、全ての命あるものが永続的に幸せになってほしいという未来社会への想いを、西陣織を纏ったメビウスのかたちに象徴的に表現しました。

民間パビリオン構想発表会を開催

日時 10月4日（水）（第一弾）、18日（水）（第二弾）
場所 株式会社パソナグループ PASONA SQUARE 16Fホール

●構想発表プレゼンテーション

【登壇出展者】 ※順不同、法人格省略

第一弾

日本電信電話
電気事業連合会
住友 EXPO2025 推進委員会
パナソニックホールディングス
三菱大阪・関西万博総合委員会
玉山デジタルテック
日本ガス協会

第二弾

吉本興業ホールディングス
パソナグループ
ゼリ・ジャパン
バンダイナムコホールディングス
飯田グループホールディングス
大阪外食産業協会

●トークセッション

民間パビリオンの魅力を語り合いました。

【ファシリテーター】 ※敬称略

第一弾 テーマ事業プロデューサー 落合 陽一

第二弾 大阪・関西万博 スペシャルサポーター
QuizKnock 伊沢 拓司・鶴崎 修功



- 日本館基本計画（令和4年3月策定）に基づき、「次のいのちへのリレー」という日本館コンセプトを体現する円環状のパビリオンを設計。本年1月24日に建築工事の公告を開始。
- 「日本らしさ」の設計として、例えば、①中心を吹き抜けとし、建物内外の境界をあいまいにすることで、外部・自然とのつながりを表現するとともに、②壁・床面に木材や土を織り交ぜた素材を利用。
- 循環の観点から、内外壁に使用する国産CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）について、会期後に地方自治体や事業者が再利用するスキームを検討。

＜日本館の外観イメージ＞



＜2025年大阪・関西万博 政府出展事業検討会議 委員＞

氏名（敬称略）	役 職 等
池坊 専好	華道家元池坊次期家元、大阪・関西万博シニアアドバイザー等
古賀 信行	（一社）日本経済団体連合会 顧問（前審議員会議長）
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa（オイラ）代表取締役
佐藤 オオキ	デザインオフィスnendo代表 日本館総合プロデューサー 東京オリパラ聖火台のデザインやミラノ万博の日本館ギャラリーを手掛ける
塩瀬 隆之	京都大学総合博物館 准教授
千 宗室	茶道裏千家家元、大阪・関西万博シニアアドバイザー
鳥井 信吾（座長）	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長 等
米良 はるか	READYFOR株式会社 代表取締役CEO

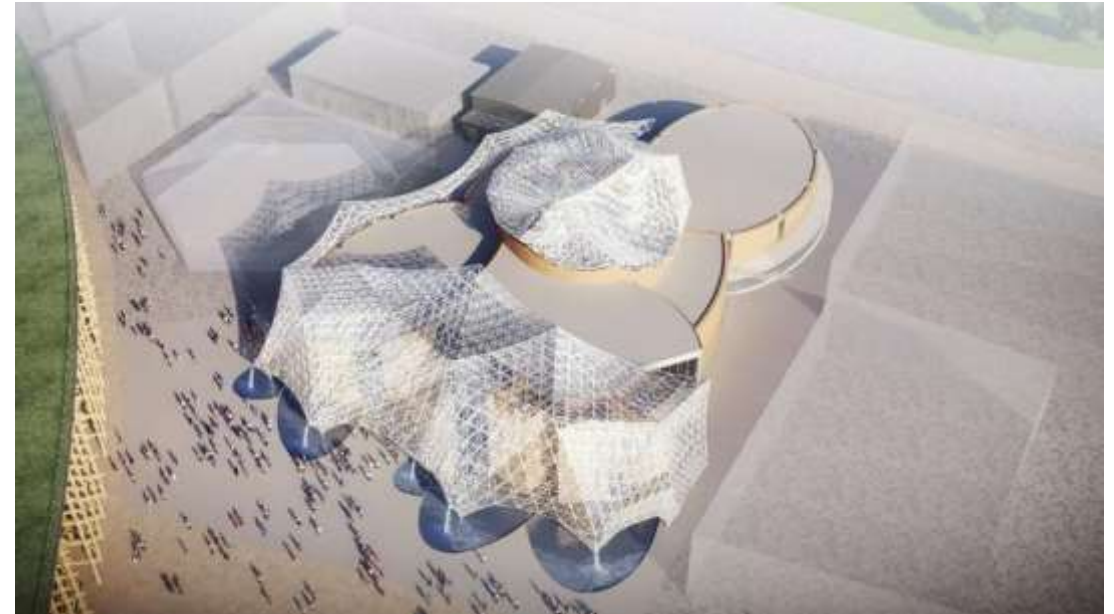


テーマ『**REBORN**(人は生まれ変わる、新たな一步を踏み出す)』

「健康」という観点から、大阪の強みを生かして、わくわくしながら明るい未来を感じられるパビリオンをめざす。



「提供:(公社)大阪パビリオン」「協力:2025年日本国際博覧会協会」



「提供:(公社)大阪パビリオン」「協力:2025年日本国際博覧会協会」

- オール大阪の知恵とアイデアを結集し、「いのち」や「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するとともに、大阪の活力、魅力を世界の人々に伝えていきます。
- 世界の先頭にたってSDGsの達成に貢献するため、「SDGs先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた取組みを世界に発信します。

中小企業・スタートアップの発掘・支援

万博に向けて新技術開発などに取り組む、優れた大阪の中小企業・スタートアップの技術力や魅力を、支援機関の企画した「リボンチャレンジ」を通じて、国内外へ広く発信する。

<https://osaka2025.site/>



～笑顔あふれる輝く未来へ、いつも楽しい、にぎわいのパビリオン～

関西全体を表現する展示エリア、出展参加府県による独自展示エリア、WEBパビリオンで展開し、**関西広域連合及び参加府県が創意工夫を凝らし魅力ある関西を表現し**、関西各地への**来訪を促進**。



3-4 未来社会ショーケース事業の意義

「未来社会ショーケース事業」は、
SDGs達成後に実現するSociety 5.0の社会＝“いのち輝く未来社会”を
支える技術・サービスを先んじて展示・体験する場です。
2820万人の現地来場者と、数億人にのぼる仮想空間来場者に発信します。

・2025年時点で各企業・団体様の開発した
最新のテクノロジー・サービスの実装・実証の場として活用頂く

・各企業・団体様の構想する
2025年より先の社会を支えるテクノロジー・サービスの
実証実験/デモンストレーションの場として活用頂く

未来社会ショーケース事業の全体フレーム



未来社会ショーケース事業

未来社会ショーケース事業は、2025年より先の未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証と、2025年の万博にふさわしい先端技術・社会システムの実装の二つのレイヤーを念頭に実施を検討しています。

スマート モビリティ万博

- ・ 会場アクセスバス、アクセス船
- ・ 会場内・外周バス
- ・ 会場内パーソナルモビリティ
- ・ ロボット (会場サービス)
- ・ 空飛ぶクルマ 等

アート万博

- ・ ウォータープラザ水上ショー
- ・ 静けさの森インスタレーション
- ・ プロジェクションマッピング
- ・ パブリックアート
- ・ パレード 等

デジタル万博

- ・ 来場者向けパーソナルエージェント、XR案内
- ・ 自動翻訳システム
- ・ オールフォトニクス・ネットワーク
- ・ 無線LAN環境・ローミング基盤
- ・ EXPO VISION
- ・ プロジェクションシステム 等

グリーン万博

- ・ DAC、メタネーション
- ・ 水素発電、純水素型燃料電池、アンモニア発電
- ・ 水素サプライチェーンモデル
- ・ CO₂吸収路面素材、CO₂回収装置
- ・ 次世代太陽電池、エネルギーマネジメントシステム
- ・ 帯水層蓄熱、緑化 等

バーチャル万博

- ・ バーチャル会場
- ・ XR演出
- ・ EXPO共創事業 等

フューチャー ライフ万博

フューチャーライフパークを拠点に、様々なアイデアを実装するインキュベーション型事業

- ・ 未来の都市、住宅、環境、交通、農業
- ・ 未来の暮らし (食・文化・ヘルスケア)
「フューチャーライフエクスペリエンス」
- ・ 未来への行動 (「TEAM EXPO 2025」、ベストプラクティス)
「TEAM EXPOパビリオン」

未来社会ショーケース事業について、実施したい案件(記載されている以外のものも含む)をお持ちの
企業・団体様におかれましては、随時、博覧会協会までお寄せください。

※ 9月14日時点のものであり、今後変更することがあります。

3 エンターテインメント



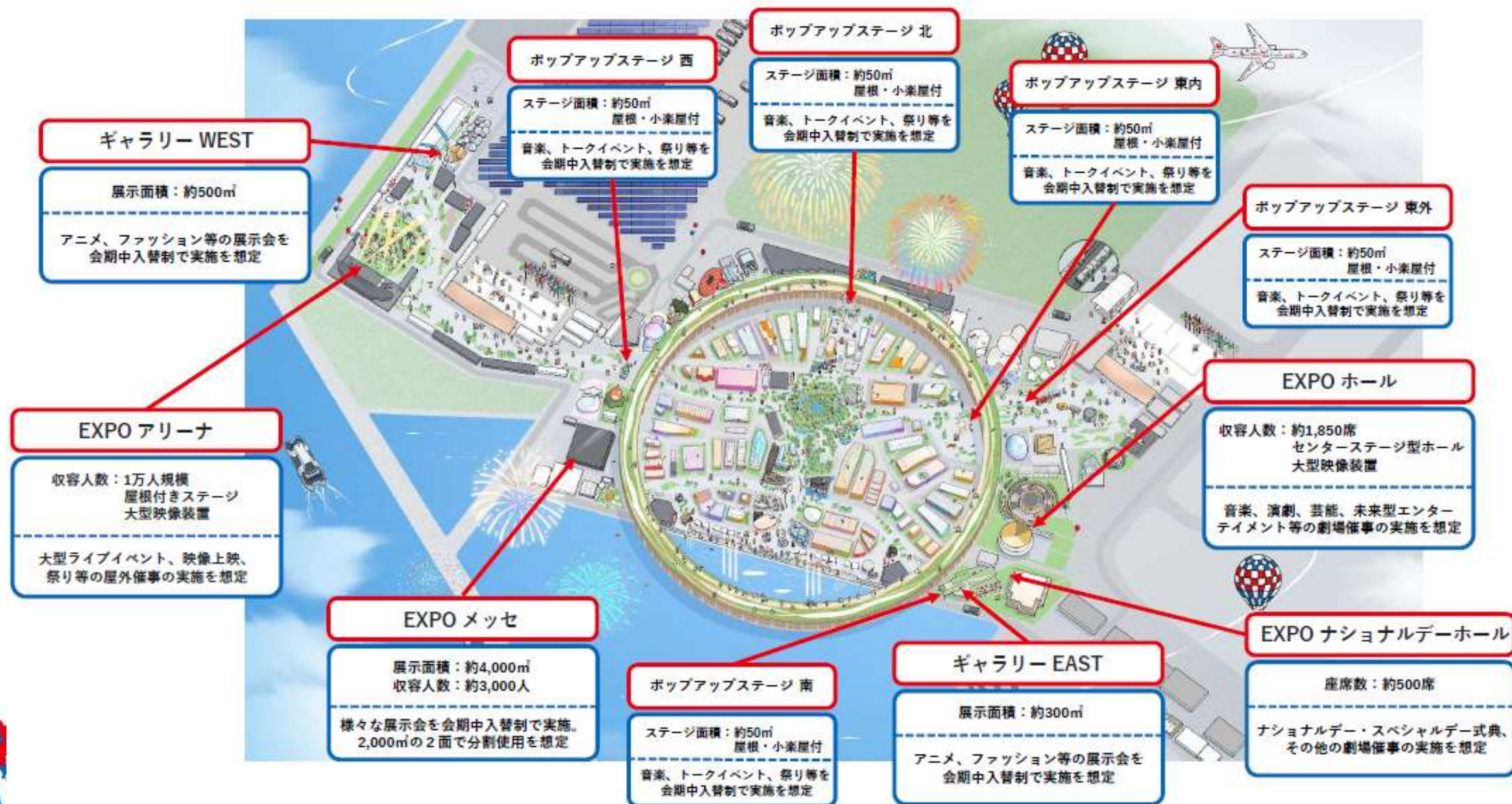
3-5 公式行事や催事について

	分類	実施主体	内容
公式 行事	開会式、閉会式	2025年日本国際博覧会協会	博覧会の開幕や閉幕を祝う式典。
	ナショナルデー スペシャルデー	公式参加者 (公式参加国・国際機関)	公式参加者の参加を称える日。 公式参加者が国内外の賓客を招いて行う 式典。
	BIEデー	博覧会国際事務局 (BIE)	閉会前日にBIEが行う式典。
主催者 催事	協会企画催事	2025年日本国際博覧会協会 (催事企画プロデューサー)	博覧会催事の中核として、博覧会テーマ を体現する催事。
	シグネチャーイベント	2025年日本国際博覧会協会 (テーマ事業プロデューサー)	8名のテーマ事業プロデューサーが行う 催事。

	分類	内容
参加 催事	公式参加者自主催事	公式参加者が自主的に行う催事。
	省庁連携催事	省庁が中心となって実施する催事。
	自治体参加催事	都道府県などが中心となって実施する催事。
	出展者参加催事 (パビリオンデー)	民間パビリオン出展者が実施する催事。
	協会協力催事	博覧会に必要な催事を実現するため、協会より協力要請を受けた外部団体等が行 う催事。
	一般参加催事	一般に公募して行う催事。



3-5 催事会場について



3 - 5 催事場 [迎賓館・EXPOホール・EXPOナショナルデーホール] のイメージ



迎賓館 外観



EXPOホール (大催事場) 外観



EXPOナショナルデーホール (小催事場)
内観 1



迎賓館 内観



EXPOホール (大催事場)
内観 1



EXPOホール (大催事場)
内観 2



EXPOナショナルデーホール (小催事場)
内観 1



4 大阪・関西万博の活用



4-1 会場整備参加・運営参加の概要

すべての来場者が快適に過ごせる会場づくりを行うため、大阪・関西万博の会場整備及び運営に必要な施設・物品、サービス等の協賛による提供を募るものです。

会場整備参加		運営参加	
会場の整備に関する施設や物品サービス		万博の運営に必要な施設や物品、サービス	
例		例	
建築部材 植栽 街灯・外灯 トイレ設備機器 インターブロッキング		ベビーカー 事務用品 ユニフォーム 机・椅子 トイレトペーパー	
施設・物品提供		無償貸与	
万博会場整備及び運営に必要な施設や物品等を現物でご提供いただくもの		万博会場整備及び運営に必要な施設や物品を無償で貸与いただくもの（会期終了後 協賛者にて回収の上、販売や再利用いただけます）	
		役務提供	
		万博会場整備及び運営に必要な技術やサービス、人員等は無償でご提供いただくもの	

幅広い様々な業種の企業・団体からご関心をいただき、これまで多数の企業・団体からお申出をいただいております。
現在も多くの企業・団体と協議中であり、すでに、130以上の企業・団体からのご協賛が決定しております。

<https://www.expo2025.or.jp/sponsorship/development-operation/>

ご協賛いただいた物品等は、各国多数の方が訪れる会場内外にて、
企業名称・ロゴ等を表示した状態で使用させていただきます。

大阪・関西万博は、御社の製品・サービスのプロモーションとして最適な場です！



4-1 会場整備参加・運営参加 募集スケジュール



会場整備参加については、今後の会場整備の状況により追加募集をすることがあります。
運営参加については、運営準備スケジュールに合わせて必要なアイテムを順次募集します。



第1回募集（2022年2月9日～3月7日）

「キャッシュレス決済システム及びデジタル地域通貨サービス」について募集。あわせて会場整備参加も募集実施。

第2回募集（2022年7月26日～9月16日）

万博運営に必要な施設・物品、サービスなど、約1000アイテムを募集。

第3回募集（2022年10月28日～12月9日）

万博に従事する多様な関係者へ、働きやすく、動きやすいスタッフ用ユニフォームを募集。

第4回募集（2022年12月1日～2023年1月13日）

万博運営に必要な施設・物品、サービスなど、約900アイテムを募集。

第5回募集（2023年7月12日～10月13日）

万博会場整備・運営に必要な施設・物品、サービスなど、会場整備参加・運営参加として約1000アイテムを募集。

○新たに募集を開始する際は、当協会Webサイトにてお知らせいたします。



会場内エリア案内と営業施設イメージ

フューチャーライフゾーン・

風の広場・西ゲート広場エリア

開催地である日本・関西・大阪の食や品物を広域からの来場者を中心にPRするエリア

【立地特性】

- ・ゲート、交通ターミナルなどのゲート機能近接
- ・屋外イベント広場近接
- ・未来を感じるフューチャーライフパーク近接

【業態イメージ】

- ・日本、関西、大阪の店舗を中心に集約
- ・大阪の食集積や日本を代表する品物の物販店舗を配置

ウォータープラザエリア

水辺に近いロケーションを活かしたゆったりとした時間を過ごすエリア

【立地特性】

- ・ウォータープラザに隣接のロケーションであり、水上ショーの実施エリア
- ・海外パビリオン、シグネチャーパビリオンが近接

【業態イメージ】

- ・水辺のロケーションとグルメを楽しめる飲食・物販店舗

フューチャーライフパーク

風の広場

西ゲート広場

空の広場

静けさの森

東ゲート広場

ウォータープラザ

静けさの森エリア

会場中心の「静けさの森」や海外パビリオンに近接する未来を感じる食のエリア

【立地特性】

- ・会場中心の「静けさの森」近接
- ・海外パビリオン、シグネチャーパビリオンが近接

【業態イメージ】

- ・静けさの森隣接の立地で食の未来へ導く飲食店舗
- ・他エリアにはない未来の食を感じられる飲食店舗の集積

空の広場エリア

海外パビリオンと近接の立地を活かした

これからのダイバーシティを楽しむことができるエリア

【立地特性】

- ・海外パビリオン・民間パビリオン・静けさの森近接
- ・会場を形成するリングに沿った建築

【業態イメージ】

- ・海外パビリオン近接の周辺の雰囲気を取り込み、世界各国の飲食も楽しめる店舗の集積
- ・SDGsを意識した未来社会の実現に取り組む飲食・物販店舗

東ゲート広場エリア

万博に訪れる日本全国・各国の人々を招き入れる日本のゲート機能を持つエリア

【立地特性】

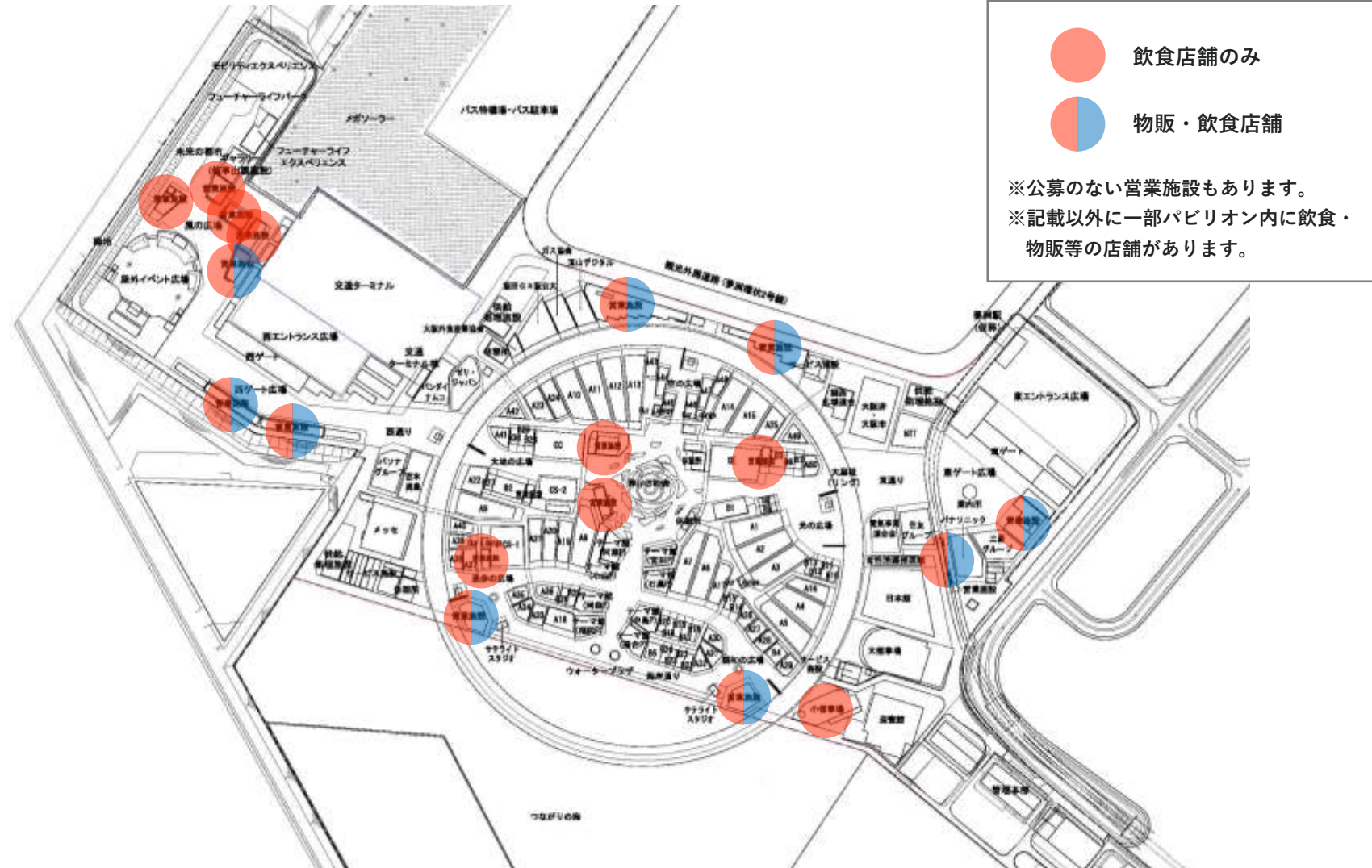
- ・来場者の多くが利用することが予想される大阪メトロ夢洲駅直結の東ゲート近接
- ・日本政府館、大阪ヘルスケアパビリオン、民間パビリオン近接

【業態イメージ】

- ・JAPANマルシェを中心としたおもてなし感やウェルカム感のある物販・飲食店舗が集積
- ・東ゲート近接で入退場来場者のお土産需要を獲得



会場内営業施設配置図



公募を行う営業施設の概要



飲食店舗

万博で大勢の来場者に対応できるラウンジ&ダイニング、レストラン／カフェテリア、フードコート、カフェ、ファストフード、キッチンカー等で構成します。

種類（カテゴリー）	総数	
	店舗数	店舗面積
ラウンジ&ダイニング	1	999.1㎡
レストラン／カフェテリア	10	3,639.3㎡
EARTH TABLE ～未来食堂～レストラン	6	651.1㎡
フードコート	3	2,908.2㎡
サステナブルフードコート	1	1,913.2㎡
カフェ	10	2,496.9㎡
ファストフード	8	1,704.5㎡
キッチンカー	24	6 エリア
飲食店舗合計	63	14,312.3㎡



物販店舗

大阪・関西万博にふさわしい地域の品を取り揃えた物産店や、各種物販店舗、コンビニエンスストアを会場内に分散配置します。

種類（カテゴリー）	総数	
	店舗数	店舗面積
JAPANマルシェ	8	406.7㎡
KANSAIマルシェ	1	354.0㎡
各種ショップ	8	1,070.3㎡
コンビニエンスストア	4	647.3㎡
物販店舗合計	21	2,478.3㎡

※会場内には上記「営業参加店舗」以外の店舗（オフィシャルストア等）やパビリオン内の飲食・物販店舗等があります。

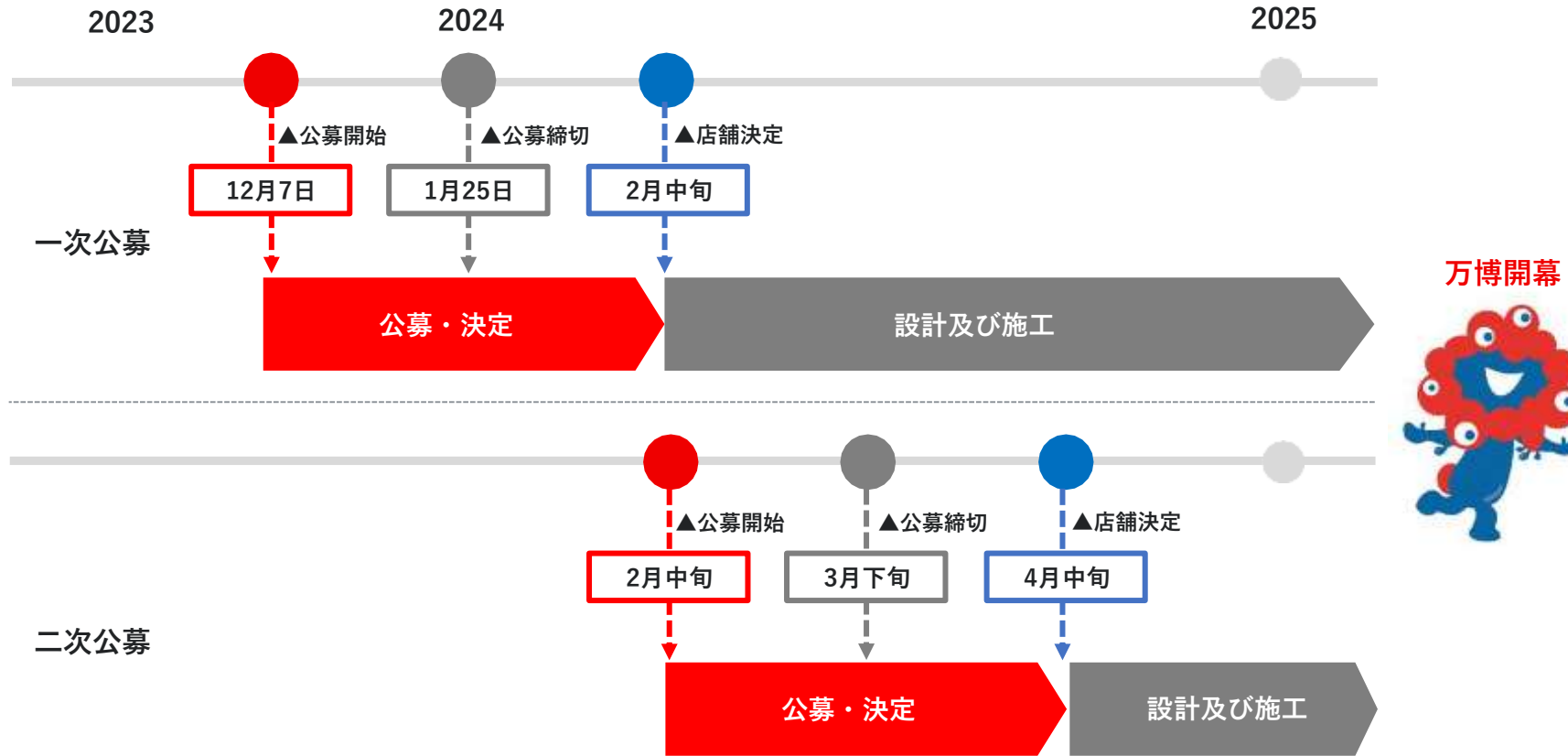
※サービス業種については別途募集します。

※業態・想定店舗面積は、検討中の内容につき変更となる場合があります。

※キッチンカーは、6 エリアにて合計24台を想定します。

4-2 営業参加

公募スケジュール



※会場内4カ所のオフィシャルストアの公募は一次公募と同時期に実施予定です。

※一次・二次公募以外に募集する案件（サービス業種など）もあります。

なお最新情報の公表は、当協会ホームページ（<https://www.expo2025.or.jp/>）で随時お知らせします。

その他新たな公募を開始する際は、当協会ホームページでお知らせしますので適宜ご確認下さい。

4-4 テーマウィーク

「テーマウィーク」とは

世界が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、**地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策**を探る取り組み。

約1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、公式参加者、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者、及び全国の自治体や産業界等が集い、**解決策を話し合う「対話プログラム」**と、**行動のための「ビジネス交流」**等を実施する。

「テーマウィークコネク」とは

テーマウィークの取り組みを**日本全国に拡大**するため、趣旨に合致する**対話プログラム**や**ビジネス交流等**の万博会場外のプログラムを「テーマウィークコネク」として連携。

テーマウィークの会場外関連プログラムとして、日本全国から参加可能。
万博を軸に、全国的な機運醸成に繋げる。

プログラム実施主体と実施場所

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
実施主体	公式参加者	日本国政府 自治体 等	博覧会協会 (アジェンダ 2025) (テーマ事業)	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
実施場所(会場内)	公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ 等	スタジオ (機中) メッセ シグネチャー パビリオン	フューチャー ライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会 ショーケース
(会場外)	テーマウィークコネク 全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携				

5つの実施方針

テーマは地球的課題

SDGs達成への貢献とその先の未来のBeyond SDGsを見据えて設定
多岐にわたる分野を包摂的な概念で構成

テーマは原則約1週間を単位とし、カレンダーを設定

日程は関連する国際デーや国際的な会議やイベントなども踏まえて設定

実施主体別にトラックを分け、独自にプログラムを実施

公式参加者、日本政府・自治体、博覧会協会、企業参加者等の万博の参加者
それぞれが主体的に独自プログラムを実施

プログラムは会場内及び会場外でも実施

プログラムは万博会場内のみならず外部会場等も活用

開幕前から閉幕後までインターネットで発信

会期前も含めプログラムはバーチャル会場からも発信し、
閉幕後は動画等をアーカイブとして残す

4-4 テーマ構成



期 間	テーマ	テーマ（問い）	テーマ領域
4/25(金)～5/6(火)	未来への文化共創	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？	伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツ など
5/15(木)～5/26(月)	未来のコミュニティとモビリティ	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？	スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaS など
6/5(木)～6/16(月)	食と暮らしの未来	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？	フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費 など
6/20(金)～7/1(火)	健康とウェルビーイング	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？	感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレ など
7/17(木)～7/28(月)	学びと遊び	AI時代において人は何を学べば良いのか？	生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊び など
8/1(金)～8/12(火)	平和と人権	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？	飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、人身売買、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、移民、人間の安全保障、多様性と包摂性 など
9/17(水)～9/28(日)	地球の未来と生物多様性	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？	気候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源 など
10/2(木)～10/12(日)	SDGs+Beyond いのち輝く未来社会	SDGsは達成できるか？ そして、その先はどうする？	SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会、Society5.0 など



共創チャレンジ 自らが描く未来の実現に向けたアクション

大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしている活動

(活動例)

- ・ 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- ・ 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- ・ アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- ・ 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- ・ 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- ・ 主催者イベントを盛り上げる物品の提供等
- ・ その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動

共創チャレンジ1,512件 [23年12月末時点]

共創パートナー 複数の共創チャレンジの創出・支援をする法人・団体

自らのリソースを提供して共創チャレンジを生み出し、また、自らが創出した共創チャレンジや他の共創チャレンジを支援する法人・団体等



人の支援

資金の支援

場・ものの支援

情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、大学、国・自治体、社会起業家等

共創パートナー363件 [23年12月末時点]



4-5 「TEAM EXPO 2025」プログラム 及び「ベストプラクティス」の発表・展示の募集



① 「TEAM EXPO 2025」プログラム

【第2期募集2024年2月頃予定】

参加者の中から**約3,000組**を募集し、**万博会場で**、これまでの**成果を発表**するとともに、来場者、出展者同士など多くの方と「対話」し、未来社会の実現に向けた新たな「共創」を生む。

URL : <https://team.expo2025.or.jp/report/1496> -

	ステージ発表&展示 (共創チャレンジ)	ステージ利用 (共創チャレンジ)	ステージ発表&展示 (共創パートナー)
枠 数	2,900枠程度	130枠程度	130枠程度
期 間	[ステージ] 30分 [展示] 1日	1.5時間	2時間+1日展示 (内) 初日3組1.5時間、自社枠0.5時間
費 用	22万円	33万円	88万円

※費用は税込み表示

② ベストプラクティス

【2024年3月19日（火）正午締切】

世界が抱える課題を解決する良質なプロジェクトを選定し、万博会場内で展示・発信するプログラム。「TEAM EXPO 2025」プログラムに登録された活動の中から募集し、**「実践的で世界各地で再生可能な、将来のために活用できる特に優れた好事例」を選定**。選定されたプロジェクトを**「TEAM EXPOパビリオン」内に展示**。

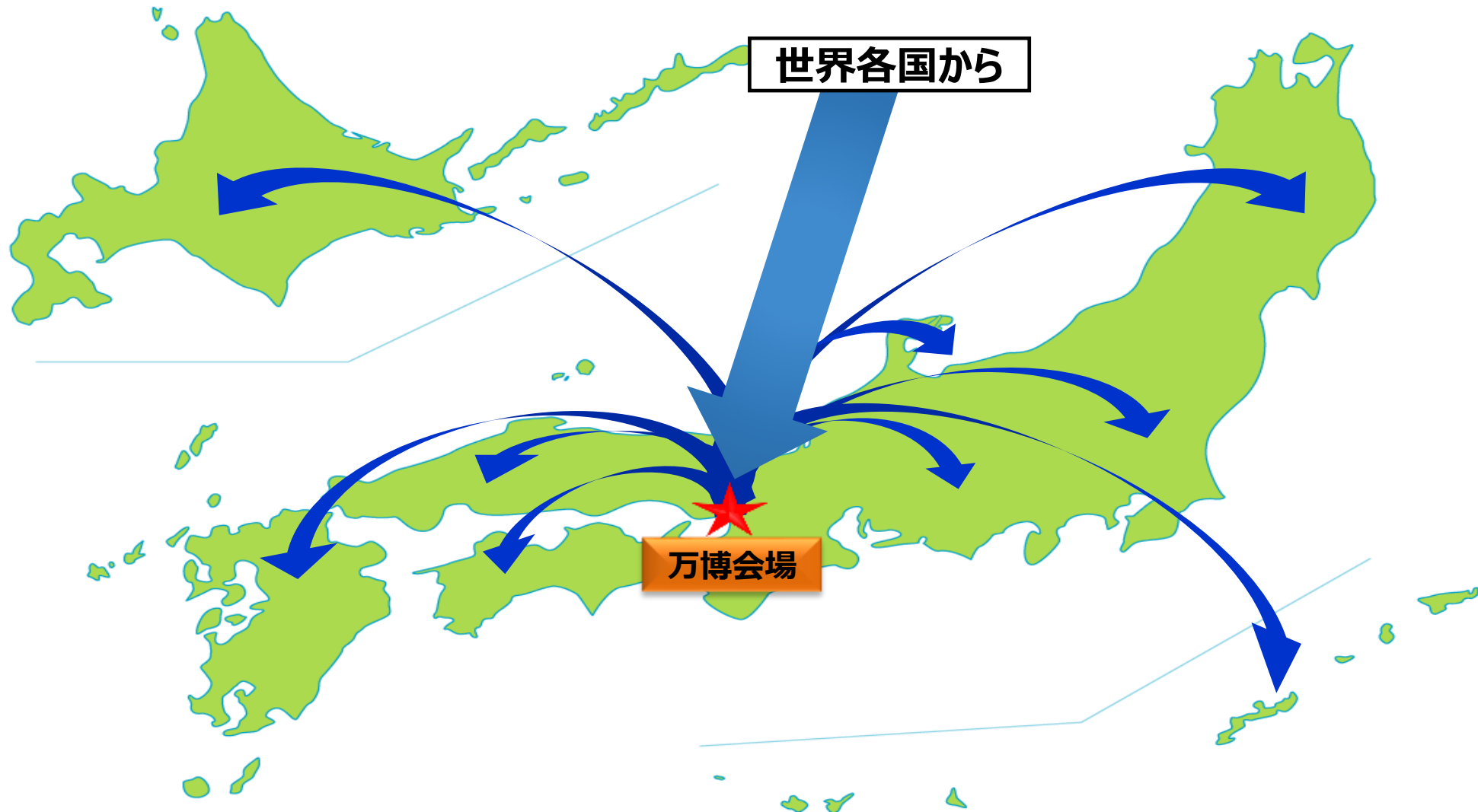


URL : <https://www.expo2025.or.jp/co-creation-index/bestpractices/> -



4-7 「万博+観光」の推進で万博開催の効果を全国へ

想定来場者数2820万人のうちインバウンドは350万人。各地域で地域の魅力を体験するツアーを造成することなどにより、万博会場から各地域へ誘客し、地域での滞在と消費拡大を図り、地域経済の活性化に繋げる。

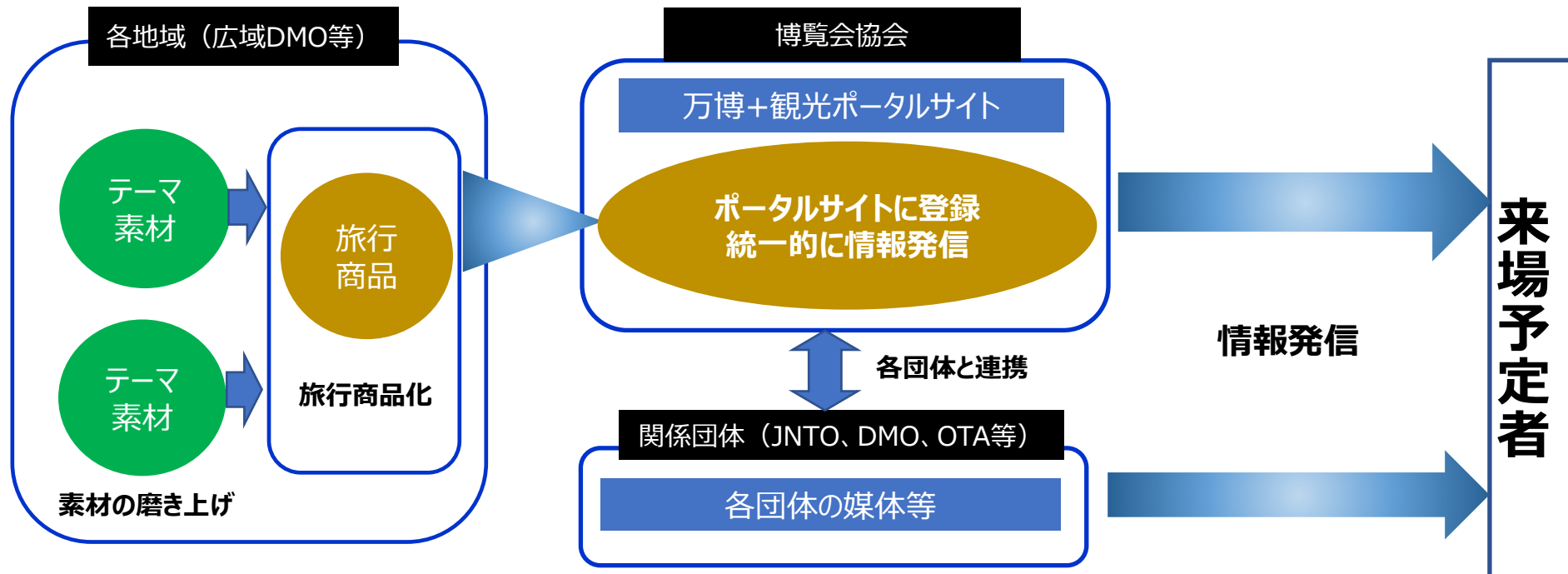


○国内外への統一的発信のプラットフォームとして、「万博+観光ポータルサイト」を協会ホームページに構築

【ポータルサイトの機能】

- ・各地域で旅行商品化（広域連携DMO等）
- ・万博関連商品を地域別検索に加え、テーマ別での分類、検索、予約が可能
- ・万博アプリ、関係団体と連携した万博来場予定者への観光商品の購入誘導

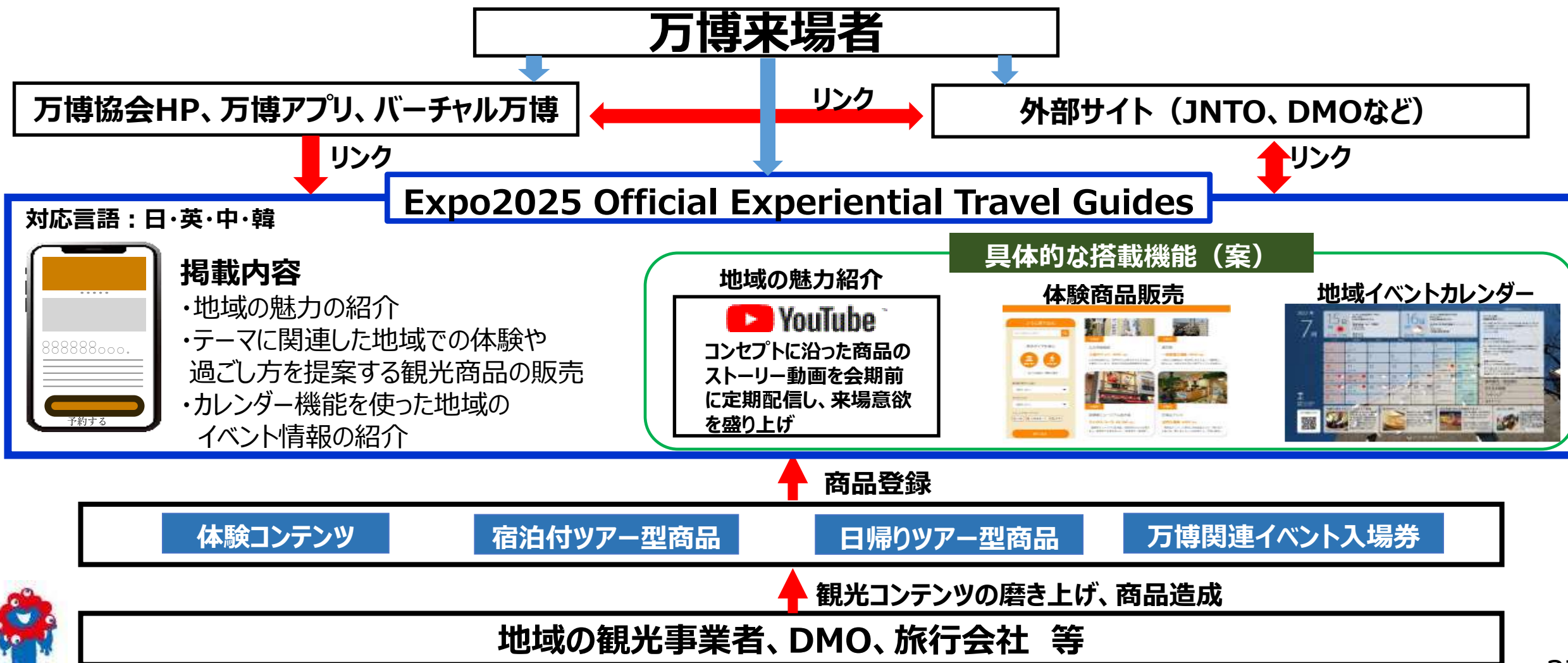
【イメージ】



4-7 「Expo2025 Official Experiential Travel Guides」のスキーム



【コンセプト】万博プラス全国観光を推進するため、国内外の万博来場予定者に対して、万博のテーマに関連した日本各地の体験や過ごし方を提案し地域への訪問を促す。



5 入場券の販売



入場券種・料金について [2023年11月30日発売開始]



項目	券種	概要	大人 (満 18 歳以上)	中人 (満 12-17 歳)	小人 (満 4-11 歳)
前売 チケット	開幕券	4/13 から 4/26 まで 1 回入場可	4,000 円	2,200 円	1,000 円
	前期券	4/13 から 7/18 まで 1 回入場可	5,000 円	3,000 円	1,200 円
	一日券	超早期購入割引 (発売～24/10/6)	6,000 円	3,500 円	1,500 円
		早期購入割引 (24/10/7～開幕前)	6,700 円	3,700 円	1,700 円
会期中販売 チケット	一日券	会期中いつでも 1 回入場可	7,500 円	4,200 円	1,800 円
	平日券	土日祝を除く平日 11 時以降 1 回入場可	6,000 円	3,500 円	1,500 円
	夜間券	会期中いつでも 17 時以降 1 回入場可	3,700 円	2,000 円	1,000 円
前売・会期 中販売チケ ット	特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および 同伴者 1 名が購入可能で、会期中い つでも 1 人 1 回入場可	3,700 円	2,000 円	1,000 円
	複数回 入場 バス	夏バス	7/19 から 8/31 まで 11 時以降何度 も入場可	12,000 円	7,000 円
		通期バス	4/13 から 10/3 まで 11 時以降何度 も入場可	30,000 円	17,000 円
	団体	一般団体割引券	15 名以上の一般団体が会期中いつ でも 1 回同時入場可	6,300 円	3,500 円
				高校生	中学生 小学生・園児
		前期学校団体割引券	学校団体が開幕から 7/18 までに 1 回同時入場可	—	2,000 円
		後期学校団体割引券	学校団体が 7/19 から 10/13 まで に 1 回同時入場可	—	2,400 円

※価格は税込。
※年齢は2025年4月1日時点の満年齢。3歳以下の方は無料。
※前売チケットの販売は2025年4月12日まで。一日券の超早期購入割引販売は2024年10月6日まで。一日券の早期購入割引販売は2024年10月7日から2025年4月12日まで。
※入場チケットは、電子チケットとなります。スマートフォンやパソコンから購入できます。また、販売代理店からも購入できます。販売代理店ごとの販売方法、販売店舗、販売開始時期については、販売代理店にお問い合わせください。
※来場にあたっては、来場の半年前から可能な、来場日時予約が必要となります。予約の方法については2024年夏頃ご案内させていただきます。

【参考】
※家族で来場する際の試算：

大人 2 人と小学生 2 人の 4 人家族
①開幕 1 週間後の土日の場合
・大人：4,000円（開幕券）× 2 人 = 8,000円
・小人：1,000円（開幕券）× 2 人 = 2,000円
合 計 10,000円

②開幕 1 か月後の 5 月の休日の場合
・大人：5,000円（前期券）× 2 人 = 10,000円
・小人：1,200円（前期券）× 2 人 = 2,400円
合 計 12,400円



博。

かわいい子には、
未来を見せよう。

そろそろ、
手帳に、万博を。

やっぱり、万博だ。

2023年10月6日]



井くるぞ万博



井くるぞ万博



井くるぞ万博



大阪 夢洲



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



2025年4月13日(日) - 10月13日(日) 大阪 夢洲



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



2025年4月13日(日) - 10月13日(日) 大阪 夢洲



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



2025年4月13日(日) - 10月13日(日) 大阪 夢洲

【キービジュアル】 公式キャラクターミyakumiyakのビジュアルとキャッチコピーを組み合わせたもの。

【キャッチコピー】 来場意向を高めていただき、前売チケットを買っていただけるよう、メインキャッチコピーとなる「くるぞ、万博」と、ファミリー層、ビジネス層、1970年万博等これまでの万博を体験した層に向けた4つのパターン

主要交通機関などのデジタルサイネージや協会の公式WEBサイト、SNSのほか、ポスターやステッカーなどにも展開。

